

# 西栗倉小だより



令和5年12月22日 NO. 9

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurashogakkou/>

## 皆様 良いお年をお迎えください

21才にして将棋界のタイトルを全て独占した藤井聡太八冠は、プロ棋士となってからは、AIを活用して研究するそうです。

新しい技術を活用する場面はどんどん進化しています。

ChatGPTという、調べたいことや作りたい資料などを問いかけると、まるで人間が作成したかのような自然な言葉で答えを用意する。そうしたことも話題となりました。

こうした技術が進化する中で、学校で使うタブレット端末も授業だけでなく、家庭でも使う場面を増やしています。

家庭学習で、例えば授業に関係する写真を撮影してくる。写真を家族に見てもらいながら対話する。学校で使うプレゼンテーション作成を進めてみる、テーマを決めて自主学習をスライドにまとめてみる。このように家庭学習を変える試みをしています。学習したことの復習や練習も必要です。同じように、「やってみよう」を広げる学習が必要だと考えています。また、子どもたちの将来は、もっと進んだデジタル環境の中で、何が自分にとって良いのかを選択し、自分から実行できるになってほしいのです。

大切なのは、「なりたい自分に」なろうとする姿。子どもたちの「自信 チャレンジ つながり」の力をはぐくむことを教育活動の重点にして、その姿を支えてきた今学期でした。ご家庭でも成長の過程や姿をしっかりとほめ認めていただくようお願いいたします。明日からは冬季休業日。安全に、そして有意義に過ごしてほしいです。新しい年の目標をもって、1月9日、また元気な顔で会いましょう。

### 学校教育目標

「ふるさとを愛し 心豊かにたくましく自ら学ぶ 児童の育成」

健康なからだのために、特に虫歯の治療をお願いいたします。虫歯は治療しなければ治りません。本校の治療率は43%です。

# 音読劇 2年

11月10日(金)

物語教材の「お手紙」を音読劇として発表です。登場人物の気持ちや行動から読み方を工夫しています。



お手紙を受け渡すところは、お手紙が登場しました。題でもあり、物語の象徴です。言葉で心や情景を表現すること、友達の読む場面まで互いに意識していて、アイコンタクトや体を向けて合図する様子が心に残りました。



## アンケートへのご協力を

本校の教育活動を振り返り、来年度の教育計画を立てるために、保護者へのアンケートを毎年実施しています。

昨年度から、パソコンやスマートフォンで答えていただくようにしています。方法が変わったことでやりにくさもあるかと思いますが、どうかご協力をお願いいたします。

## あいあい見守り隊 隊員募集

見守り隊の皆さんには、登下校の安全見守りにご協力いただいております。これまで長く引き継いでいただいておりますが、ご都合により人数が少ない状態です。保護者の方でご協力いただけませんかでしょうか。問い合わせは学校まで。



# 自分で発電!

# 5年

10月26日(木)

百森でんきのみなさんを講師に迎え、前回、電気について学習した続編です。スイッチを入れれば、明かりがつく。そんな当たり前の暮らしの中で、実際に発電にチャレンジです。

自転車の発電装置「ダイナモ」の仕組みを知ります。興味津々の5年生です。

11 住み続けられるまちづくりを



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



ペダルをこぐと明かりがつき、どれくらいの電力となったのかがパソコンで見える装置を準備していただきました。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



子どもたちが必死でこいだ電力で家電製品を動かしてみます。サーキュレーターは動く。でも、コーヒーマーカーは、わずかにコーヒーが出るくらい。発電の力はすごい、と実感した5年生です。





# ふるさと感謝集会

11月7日(火)

地産地消、西粟倉産の新鮮でおいしい野菜や食材を提供いただいている地域生産者のみなさんをお迎えしての集会です。食材ができるまでの工夫や、食材に

感心をもち、健康になってほしいなど、一人一人の方がそれぞれお話しくださいました。

ランチルームで一緒に給食を食べていただくのは、4年ぶりとなる集会でした。

15 陸の豊かさも  
守ろう



# 秋パーティー 1・2年

11月22日(水)



今年は、幼稚園全員を招待した盛大なパーティーです。

1・2年生がお兄さん、お姉さんとして遊びに呼び込み、困ったら助ける役割をしました。こうした役割と責任を果たす場面でまた一つ成長ですね。幼稚園の子たちは大喜びだったようです。



# わくわく読書の発表 5・6年

11月10日（金）



通称「わく読」。全校が集まって読書する全校読書、読み聞かせなど様々なバリエーションで行っています。その中で、読書や国語の授業内容からの各学年が発表する時間の紹介です。

6年生は、修学旅行の写真をもとに、自分が読んだ俳句を披露してくれました。

5年生は、国語「伝わる表現を選ぼう」の学習から寸劇+クイズ。中身を紹介します。

校長に尋ねるなら、ていねいな言葉を使わなければと思い、「校長先生、質問があるでござる。」・・・どこがおかしいでしょう、みんなに意見を求めます。

もう1つ。絵画展示の前で、「〇〇君、君の絵、やばいね。」と言われた友達はショックを受けます。ほめたつもりなのに、どこがおかしかったのか、と意見を求めます。この問いに、「やばいには、よくないという意味も入っているのに使ったこと、とても心に響く素晴らしい作品だという意味の言葉を使えばよかった。」「やばいね、を先に言うとはよくない。『とてもいい絵だね、やばいよ。』といいことを先に言って、後からつけるとよかった。」と。発表も回答の中身にも感心した時間になりました。





# わくわく読書の発表 3・4年 12月 1日 (金)



通称「わく読」。その中で、読書や国語の授業内容からの各学年が発表する時間の紹介です。今回は、3・4年生。



4年生は、国語で学んだ「要約」を短い劇で伝えてくれました。題材は、「桃太郎」これがショートストーリー3本仕立てで発表です。要約とは内容はそのままに文を短くして伝えること。お話が変わってしまうとダメだというユーモアを交えて伝えてくれました。

3年生は、劇で表現したのは、どの「慣用句」なのかを3択クイズで見つけるというものでした。

ボクシングを始めて3日の選手に、チャンピオンが負けてしまう「猿も木から落ちる」編。



世界一うまい、うまい棒を3つの国の開発者が開発し、2つの国の開発者が徹夜で奪い合っていて気絶している間に手に入れた「漁夫の利」編。

どんなお手伝いをしても、「はい10円。」と渡されるお駄賃に不平を言う子どもたち。でも、いつの間にかまとまったお金になっていた「塵も積もれば山となる」編。練習もしたのでしょう。ストーリー、演技やしぐさに大いに笑い、感心した時間でした。





# 計画を村長プレゼンで 6年

「村を元気に」を目標に、ふれあい公園の看板設置とイベント企画で、公園利用を増やし、みんなに楽しいと感じてほしい、と木薫さんの伴走をいただき学習を進めてきました。



公園は村所有のもの。計画の実施の考えを、青木村長、産業観光課 萩原課長にプレゼンを行った6年生です。



お二人からは、ぜひ楽しい場所にしてほしい、がんばって盛り上げてほしい、と激励のお言葉。準備をしても足が震えるほどの緊張感のある場で、質疑応答、意見交流と代えがたい体験ができました。

「なぜ5種類の木を看板で紹介しようと思ったのか。」「公園に対してどんなイメージを持っているのか。」など質問をいただき、緊張しながらも答えていくことができました。





# 村のお仕事見学 4年



「西栗倉の仕事」から学び、ポスター制作をテーマに学習を進めている4年生。仕事場で、仕事の手順や工夫、大切にしていることやご苦労。併せて、仕事への思いも聞かせていただいています。

今回の写真は、次の2か所です。

\* 渋谷カバン 渋谷さん

\* 一汁一菜 大上さん

以下の皆さんにもご協力いただきました。

11 住み続けられるまちづくりを



◆ご協力いただき感謝します。

- ・ 清勝
- ・ mori no oto
- ・ にしあわくら 小林菓子店
- ・ 内海一浪さん 内海幸美さん



12 つくる責任 つかう責任

